

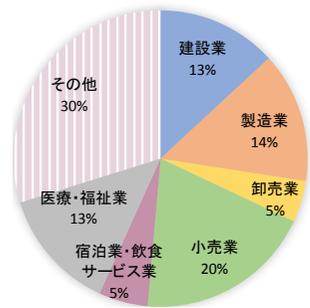
三田市商工会「平成30年度市内経済雇用動向調査」報告書

平成30年調査

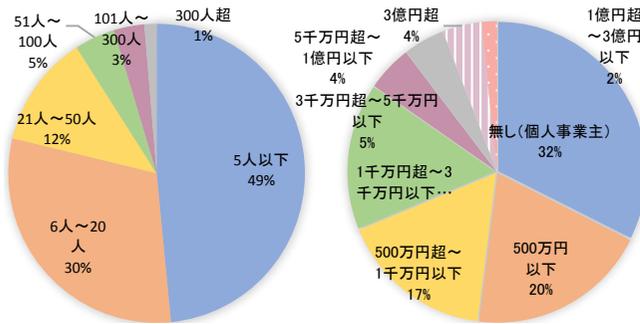
- 調査目的：市内事業所の景況や雇用の状況について把握し、今後の三田市商工会の伴走型支援を進めるための基礎資料を得る。
- 調査方法：郵送による調査票送付、返信
- 調査対象：市内事業者 2,299社
- 回答数：463社(回答率20%)
- 対象期間：平成30年7月～9月
- DI値：①業況...良い割合－悪い割合、売上高...好調割合－低調割合
仕入高...上昇割合－低下割合、採算...黒字割合－赤字割合
設備...過剰割合－不足割合、従業員...過剰割合－不足割合
②<>内は前年同期(平成29年7月～9月)の数値との差

●回答企業の属性

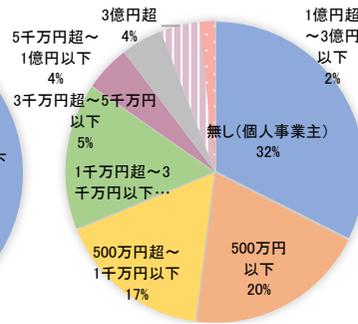
【業種】



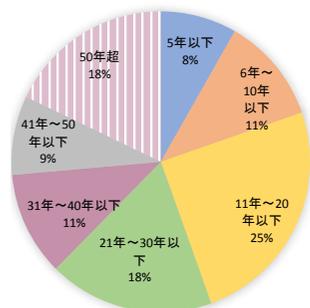
【従業員数】



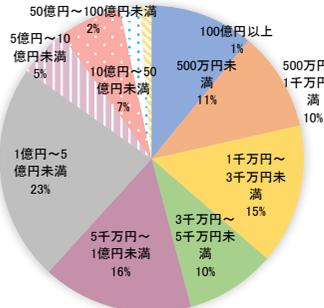
【資本金】



【業歴】



【売上高】



○回答企業の「業種」「従業員数」等の属性割合は、平成29年度調査とほぼ同様の結果であった。

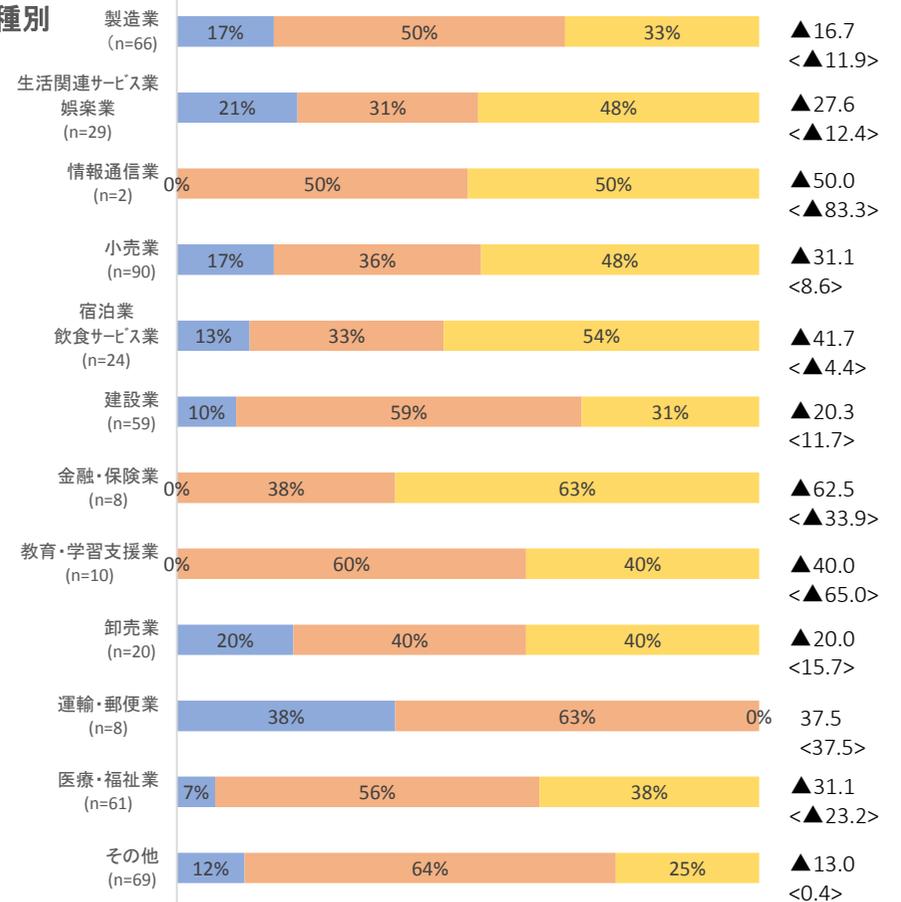
○「業歴」50年超の事業所15%、31年以上の事業所が35%を占め、事業承継に関する回答に注目したい。

【業況】

全体



業種別

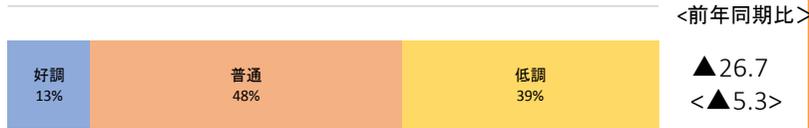


○平成30年7～9月期の全業種の業況判断DIは、(前年同期▲22.2→)▲24.2(前年差2.0ポイント減)となり、マイナス幅が拡大した。
○「金融・保険業」「宿泊業・飲食サービス業」は、「悪い」の割合が「良い」「普通」を上回っている。

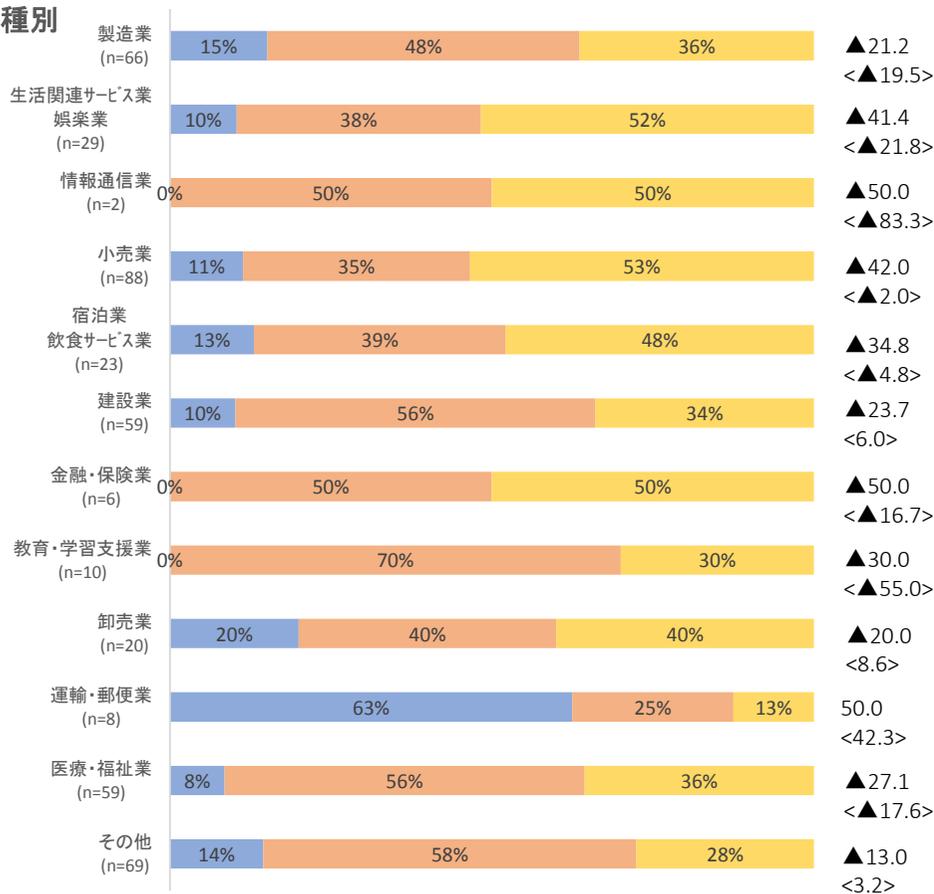
三田市商工会「平成30年度市内経済雇用動向調査」報告書

【売上高】

全体



業種別



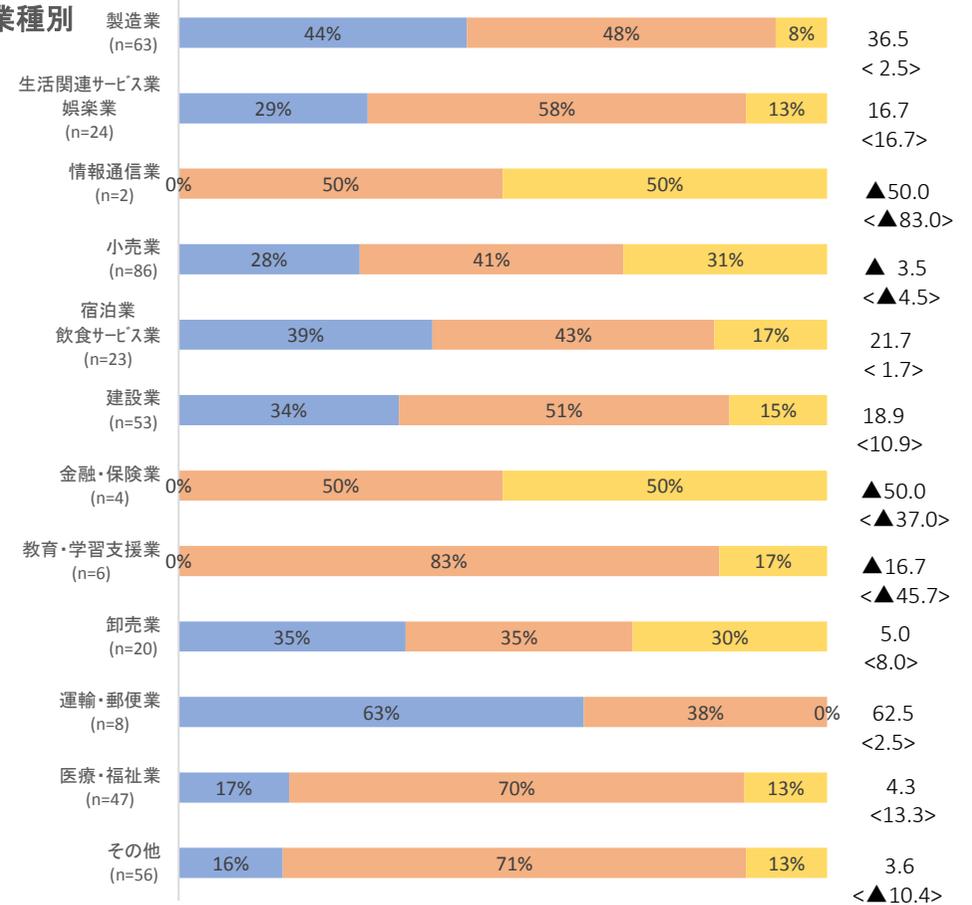
○平成30年7-9月期の全業種の売上高DIは、(前年同期▲21.4→)▲26.7(前年差5.3ポイント減)となり、マイナス幅が拡大した。
 ○業種別に見ると、「製造業」で(前年同期▲1.7→)▲21.2(前年差19.5ポイント減)とマイナス幅が拡大したが、「建設業」では(前年同期▲29.7→)▲23.7(前年差6ポイント増)とマイナス幅が縮小した。

【仕入高】

全体



業種別



○平成30年7-9月期の全業種の仕入高DIは、(前年同期9.0→)11.5(前年差2.5ポイント増)となり、プラス幅が拡大した。
 ○特に、「生活関連サービス業・娯楽業」(前年同期0→)16.7(前年差16.7ポイント増)、「医療・福祉業」(前年同期▲9.0→)6.1(前年差15.1ポイント増)、「建設業」(前年同期8.0→)18.9(前年差10.9ポイント増)、で大きく拡大した。

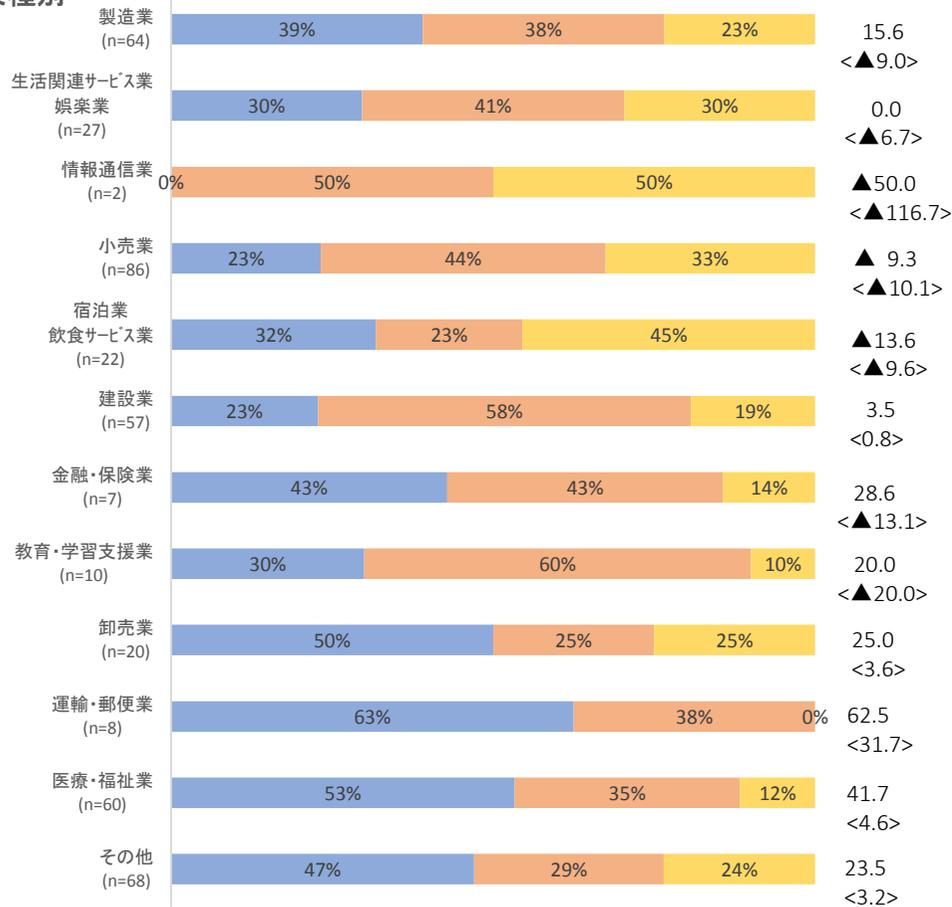
三田市商工会「平成30年度市内経済雇用動向調査」報告書

【採算】

全体



業種別



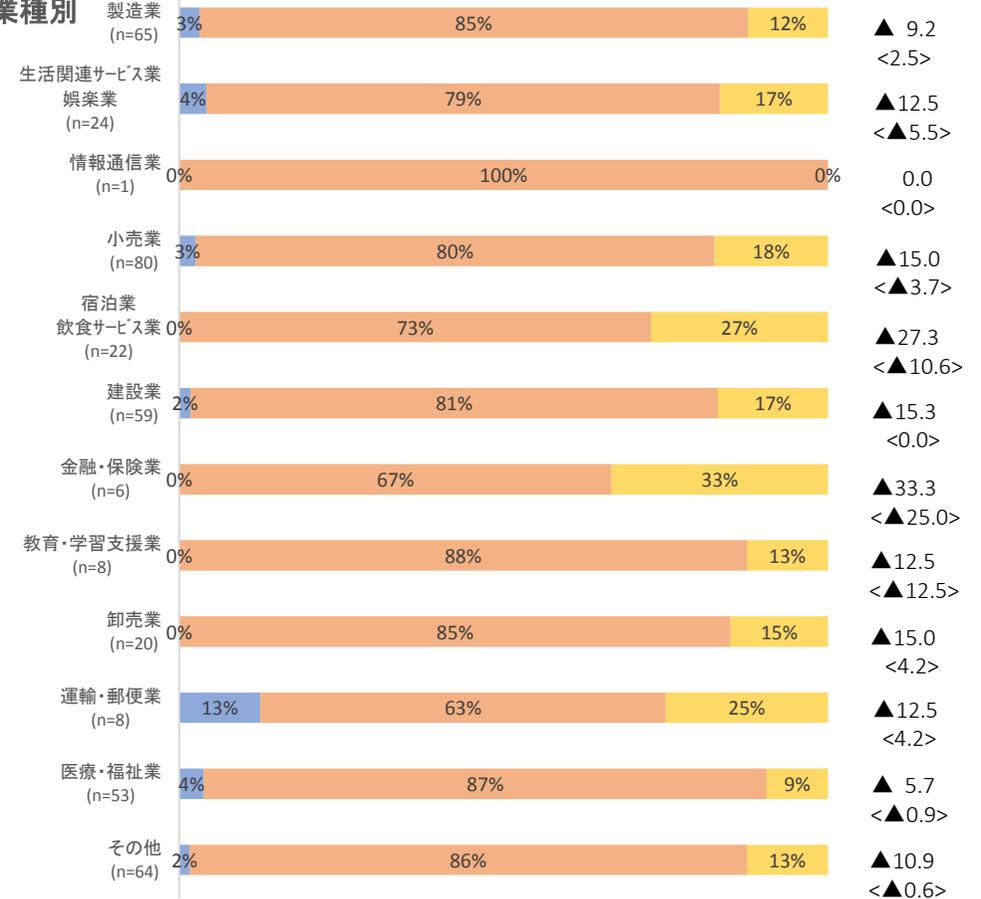
○平成30年7-9月期の全業種の採算DIは、(前年同期14.3→)12.8(前年差1.5ポイント減)となり、プラス幅が縮小した。
 ○業種別に見ると、「小売業」が(前年同期0.8→)▲9.3(前年差10.1ポイント減)とマイナスに転じた反面、「運輸・郵便業」(前年同期30.8→)57.1(前年差26.3ポイント増)、「卸売業」(前年同期21.4→)25.0(前年差3.6ポイント増)、「建設業」(前年同期2.7→)3.5(前年差0.5ポイント増)とプラス幅が拡大した。

【設備】

全体



業種別

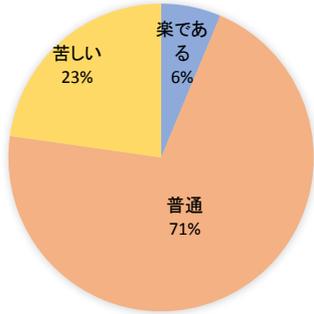


○平成30年7-9月期の全業種の設備過不足DIは、(前年同期▲11.3→)▲12.9(前年差1.6ポイント減)となり、不足感が強まっている。

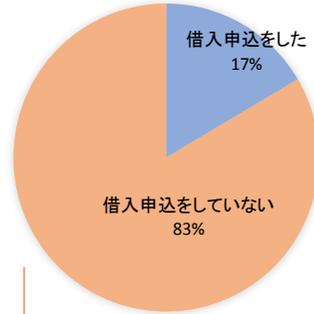
三田市商工会「平成30年度市内経済雇用動向調査」報告書

【資金繰り】今期(平成30年7月～9月)

(1) 資金繰り状況



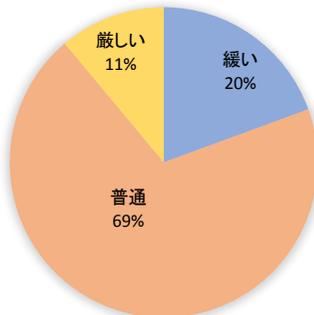
(2) 借入申込状況



(3) 資金用途について



(4) 金融機関(借入条件等)の姿勢



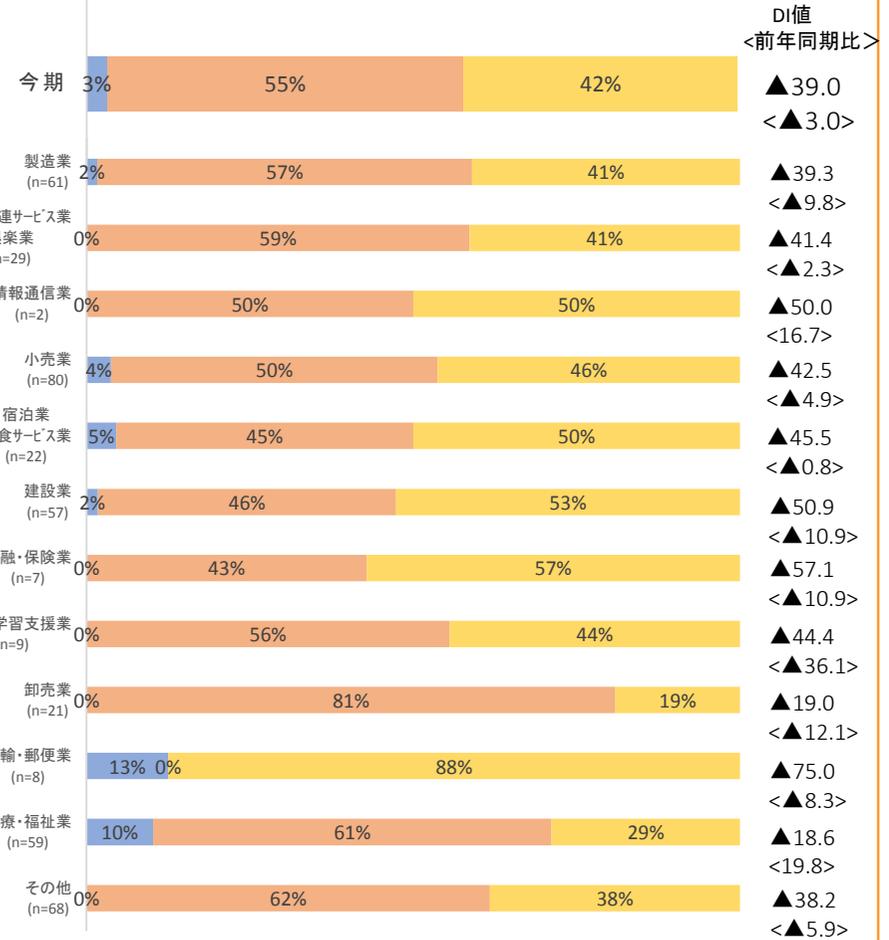
(5) 金融機関の姿勢が厳しい点



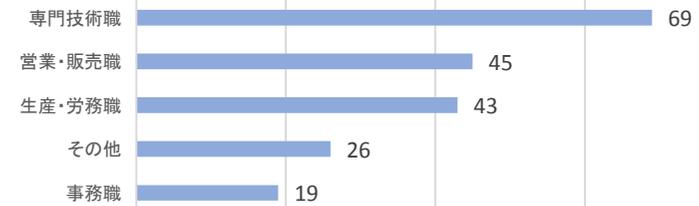
○平成30年7～9月期の全業種の資金繰りDIは、(前年同期▲12.0→)▲17.0(前年差5ポイント減)となり、マイナス幅が拡大した。
 ○借入難易度DIは、(前年同期9.0→)9.0となり、変化無かった。
 ○資金用途については、前年より「新規事業に係わる資金」「売上(受注)増に伴う増加運転資金」の件数が増加した。

【従業員】

全体



不足職種

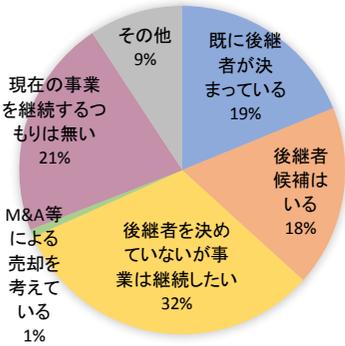


○平成30年7～9月期の全業種の従業員過不足DIは、(前年同期▲36.0→)▲39.0(前年差3ポイント減)とマイナス幅が拡大し、さらに不足感が強まった。
 ○「医療・福祉業」はマイナス幅が縮小した。
 その内訳をみると「医療業」は▲7.0と他業種に比べ不足感が低いが、「福祉業」は▲53.0と高い結果となっている。

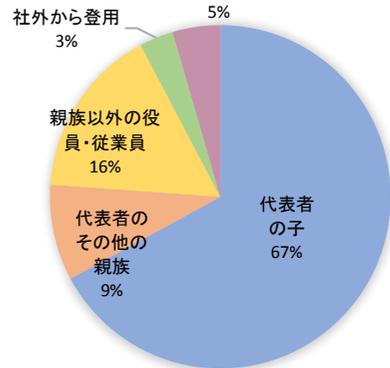
三田市商工会「平成30年度市内経済雇用動向調査」報告書

【事業承継】

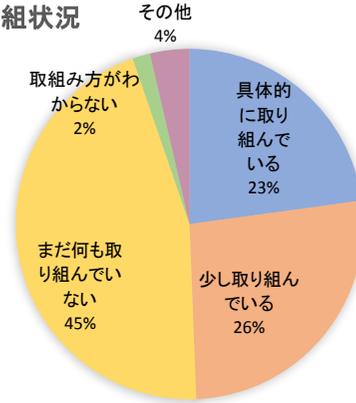
事業承継予定



後継者(候補)



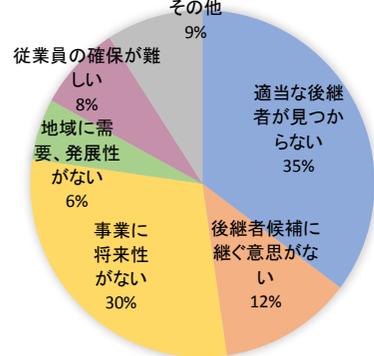
取組状況



事業承継の問題・課題



廃業の検討理由



○事業承継予定について、「後継者候補はいる」「後継者を決めていないが事業は継続したい」が50%を占めた。
 また、廃業検討理由として、「適当な後継者が見つからない」「後継者候補に継ぐ意思が無い」が50%近くを占め、後継者難による廃業を阻止する支援が急務である。
 ○取組状況について、「まだ何も取り組んでいない」「取組み方がわからない」が50%近くを占めた。
 ○事業承継の問題・課題として、「後継者の教育」が1位を占めた。

【直面している経営上の課題】



○前年同期調査と比較すると、上位6項目に変更は無く、「従業員の確保難」「人件費の高騰」が継続した課題となっている。

【まとめ】

昨年度調査では、景気の改善傾向が見られたが、今回は全体的に下降気味となった。そのような状況の中で、「建設業」は業況・売上・採算ともに上向いており、相次ぐ自然災害の影響が考えられる。